



広報
いちき
串木野

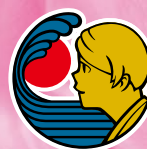
愛が いっぱいのまち♡

Ichikikushikino City
Public Relations

2018
VOL.151

2018年5月21日発行

5



いちき串木野
明治維新
150周年

まちひと元気



心の扉を“ノック”

家庭教育支援チーム 「ほっとルーム」

みなさん、「ほっとルーム」をご存知ですか。

主な活動内容は、小学校1・2年生の長子家庭の家庭訪問や出前サロン「おあしす」などの活動で、市の委託を受け、黒江さんなど5人で家庭教育支援にあたります。今年3月には、文部科学大臣表彰も受け、その活動結果が大きく評価されました。

活動範囲は平成20年から始まり、当時は串木野小学校だけでしたが、現在では市内公立の全小学校に広がっています。

子育て中の親は、程度の差はあれ、多くは不安や悩みがあるものです。昔に比べると地域の交流が希薄になり、“おせっかい”な人たちが減ってきている現在では、周囲に相談できずに一人で悩みを抱えていたり、子育てを頑張っているのに周りに理解してもらえないと感じている親もいます。

全国でも珍しいこの家庭訪問では、そうした人たちの中でも特に、子どもや親の環境が変わ

る新入学児童を抱える学年に的を絞り、「一緒に語り、考えましょう」という姿勢で一軒一軒を訪ねています。

ただ、最近は共働きの家庭も増え、訪問しても会えないケースもあるそうです。そんなときはPTAや母親学級に併せて学校で開催している出前サロン「おあしす」を利用して欲しいと呼びかけています。

また、そうした会合へ親が出席しやすい環境づくりに配慮してもらえるよう事業所への呼びかけも行っています。PTAや学校行事は、親にとっては学び、情報交換の場。職場の支援・理解が、家庭や仕事で結果的にプラスになると考えているからです。

黒江さんは、「私達は専門家ではない」と謙遜しますが、以前は学校長やPTA役員などと、メンバーは子どもと親の架け橋のプロ。悩んでいる親には「親が子どもの前で、笑顔でいるのが一番いい環境。子どもも一生懸命がんばっているのを受け止

めてほしい」とアドバイスを送ります。

「隣のおばちゃんのように少しのアドバイスができれば」との思いから続けている「ほっとルーム」活動ですが、ときには厄介がられることもあります。そんなとき『ご苦労様』『また来てくれますよね』との言葉がうれしく、やりがいになっている」と黒江さんは話します。

相談後、母親の表情が明るくなったり、子育てに協力する父親が増えたりと、子育てに対する理解は着実に進んでいるとメンバーは実感しています。

活動内容は、毎月発行している「ほっとルームだより」でも紹介しています。子育てに関するプチ情報など、「これは！」という内容が盛りだくさんです。

これからも「ほっとルーム」は、子育て家庭に寄り添い、心の扉をノック、“あったかい架け橋”を目指します。

地域おこし
協力隊の

褒められて伸びる子のコラム

vol.25 今月のコラムニスト 高嶋直輝

i ckkskn2016

検索

コミュニティバー始めました!!

4月22日(日)、第1回目となる“コミュニティバー”の営業を行いました。コミュニティバーとは、「お店側とお客様、お客様とお客様など、そこに集まる人たちのご縁をつなぐバー」と、僕が勝手に定義しました。この取組みは、串木野駅前のiテラスというお店を僕がお借りして、「誰でも気軽に飲食店のマスターになれる場所」として営業を行うものです。

今回のマスターは…僕でした！いちき串木野市の食材を活用した料理や、焼酎を使った創作カクテルなどを中心に提供しました。

この取組みを行うきっかけとなったのは、僕の地元である兵庫県たつの市にある<コミュニティバーふるさと>というお店でした。そのお店も、マスターがその日によって違います。ある時はお店近くにあるカフェのマスターが、ある時は町のおばちゃんが、とその日によって色んな食事を楽しむことが出来る、ゆる〜い雰囲気のお店。その居心地の良さが気に入った僕は、「鹿児島でも同じような場所を作りたい」と思い、共感いただける飲食店さんを探しました。iテラスさんと何度となく打ち合わせを行い、料理の試作会を行い、1つずつ課題をクリアして、先日オープンに至ったのです。

オープンしたとはいえ、今のところ営業は不定期です。そのため、営業日が決定した際には様々な形で皆様にお知らせしたいと思います。

“誰でも気軽に飲食店のマスターになれる場所”として取り組んでいますので、飲食店の営業に興味がある方、誰かに料理を食べてもらいたい方、話だけでも聞いてみたい方など、少しでも興味を持たれた方は、ぜひ地域おこし協力隊の高嶋(食のまち推進課☎33-5621)までご連絡ください！立ち上げに至った経緯や、出店の具体的な内容など、色々とお話しさせていただきます！

この取組みを通じて、

- ①いちき串木野市の食材をPRする場を作る
- ②気軽に飲食店営業の体験ができる場を作る
- ③いちき串木野市内の空き店舗を活用する人材を発掘する
- ④お店に集まった人達のご縁をゆる〜くつなげるといったことが実現出来ればと思っています。



まだまだ始まったばかりで課題もたくさんありますが、とにかく楽しみながら精一杯取り組んでいます。

本当にたくさんの方に来ていただきました！次回の開催をお待ちください！



Ichksgram



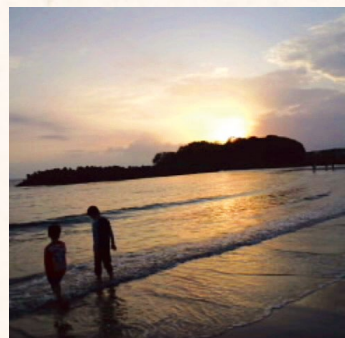
misaki_kameoka ...



❤️ 💬 📌
まちなかサロンでマルシェを開催しました！地域の皆様と一緒に続けていけたらいい♡
(亀岡美咲)



hanadanaolo ...



❤️ 💬 📌
夕方の照島海岸にて。夕日に照らされた海がきれいでした。
(花田直樹)



fmkz ...



❤️ 💬 📌
鹿児島満載の朝ごはんを美味しく食べてくれるファミリー。
#伊佐米 #茶節
#山川漬 #豚みそ
#宿で逢いましょう
(小林史和)



gacky0809 ...



❤️ 💬 📌
屋台村で、本市の食材や焼酎を扱うお店<ツナバル>オープンします！ぜひ県外のお友達にオススメを！
#かごつまふるさと屋台村 #ツナバル
(板垣勝)

まちの話題



三井串木野鉱山株が金山史跡説明板の寄贈



芹ヶ野地区を中心に金山史跡を顕彰する金山史跡説明板が5月から地区内6か所に設置されました。これは、三井串木野鉱山株式会社社長の五味篤さんが、地域貢献活動の一環として、市へ寄贈されたものです。

五味さんは「今後も地元企業として地域貢献活動を続けていきたい。今回寄贈した説明板が市民の郷土学習の助けになれば」と話されました。

移動販売車、復活



4月13日、芹ヶ野公民館にて移動販売車の運行が開始され、多くの買い物客で賑わいました。

同地区では、「買い物に困っている」などの意見が多く、毎週金曜日に行われるころばん体操に合わせて、地域の高齢者の買い物支援、交流の場となつてほしいとのことから始まったものです。

買い物客の1人は「ころばん体操のあと、近くで買い物までできてとても便利」と話しました。

今後も毎週金曜日の10時45分～11時15分に運行される予定で、地域への貢献が期待されます。

大漁願い 遠洋まぐろ漁船出港



4月21日、遠洋まぐろ漁船が、多くの関係者や家族連れが見守るなか、串木野漁港を出港しました。

この船は、濱田水産株式の第一共進丸で、乗組員23名が乗船し、東部太平洋の漁場で11か月かけて、延縄漁でメバチマグロやキハダマグロを追います。

同船は、来年4月の帰港を予定しています。

航海の安全と大漁にて帰港されるよう、多くの人の笑顔で見送られました。

交通安全表彰者・運転免許返納者



4月6日に行われた春の全国交通安全運動広報出発式において、無事故無違反を長年続けた3名の方が県警本部長と県交通安全協会理事長から交通安全の表彰を受けました。

また、2名の方が免許を返納し、卒業証書を受理しました。

優良運転者銅章：梶 久美子さん（後列左端）

優良運転者銅章：永井えり子さん（後列左2番目）

優良運転者銅章：入江 直海さん（後列右2番目）

免許返納者：石元ヒロ子さん（前列左2番目）

免許返納者：野元 明さん（前列右2番目）

明治維新150周年記念 串木野浜競馬



4月15日、61回目となる串木野浜競馬大会が、爽やかな春風のもと、照島海岸で開催されました。荒川太鼓によるオープニングのあと、ポニーや農耕馬など、地元馬4頭を含む52頭が出走。ゴール前で逆走する馬や、騎手を振り落してゴールする馬など、観客の笑いを誘い、波打ち際で水しぶきをあげ疾走するサラブレッドのレースでは、多くの声援で春の浜辺がわき立ちました。

第17レースで地元馬の騎手をつとめた小学5年生の琉子夢那さん（薩摩川内市）は、2回目の挑戦で「いいスタートだったが、最後で抜かれてしまった。つぎはがんばりたい」と話しました。

また、春のこもれびの中、多くの家族連れが出走馬とふれあい、楽しいひと時を過ごしていました。



よしこ号と琉子夢那さん（左）



第21回市来さくら祭り ねんりんピック弓道大会



4月8日、第21回市来さくら祭りねんりんピック弓道大会が開催されました。晴れ渡る青空のもと、市内外から90名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。

●団体戦 優 勝 出水チーム
 準優勝 松元Aチーム
 第3位 鴨池Cチーム

●個人戦

・男子の部 優 勝 森上 義博
 準優勝 稲留 裕
 第3位 房村 利隆
・女子の部 優 勝 森 和子
 準優勝 濱田マリ子
 第3位 外蘭 正子
●ねんりん賞 優 勝 淵之上 桂

バドミントン大会 親子で優勝



原口小巻さんが、2月に鹿児島県で開催された第63回全九州社会人バドミントン選手権大会に出場し、30歳以上女子シングルスで大会3連覇を達成しました。

また、原口さんの娘さんで市来小2年の原口倅歩さんが、3月に岡山県で開催された第17回倉敷ジュニアオープンバドミントン選手権大会に出場し、小学2・1年生女子の部で、見事優勝しました。第1シードとして出場した倅歩さんは、昨年行われた同大会でも1年生ながら準々決勝進出と好成績を残しており、「将来はオリンピックに出たい」と話していました。

今後ますますの活躍が期待されます。

歴史つなぐ 黎明祭

4月22日、薩摩藩英国留学生記念館で羽島史跡顕彰会が薩摩藩英国留学生の偉業を称える黎明祭を開催しました。

陣笠、陣羽織姿の留学生に扮した羽島小中学生が留学生の偉業を、鹿児島弁や英語でユーモアたっぷりに紹介しました。新納久脩役を演じた羽島中学校3年の萩元靖奈さんは、「留学生たちの勇気を感じ、自分たち子どもも、みんなでがんばらないといけない」と頼もしく話しました。

今年は明治維新150周年にあたり、同会場では併せて多数のイベントが催されました。

記念館前広場では、地元物産等を販売するスチューデント市やエイサー、チアリーディングの披露があり、多くの家族連れで賑わいました。また、記念館内ライブラリーでは島津義秀さんによる薩摩琵琶演奏、東川隆太郎さんによる講演会があり、講演では西郷隆盛と薩摩藩英国留学生との手紙のやりとりや長州ファイブとの関わりを交えての話など、参加者は熱心に聞き入っていました。



留学生に扮した小中学生



賑わうスチューデント市



東川さんの講演会

薩摩スチューデントレリーフ 旅立ちの地に

日本近代化の礎を築いた薩摩藩英国留学生をモチーフにした石彫レリーフが、留学生記念館横の壁面に寄贈され、4月22日、除幕式がありました。

これは、明治維新150周年にあたり、本市羽島出身で株式会社日能研九州・四国の代表取締役西中浩二さんが薩摩藩士19名の偉業を称えるため、何か貢献できるものをと市へ相談され、今回寄贈されたものです。

石彫レリーフに刻まれた村橋久成や森有礼など19名の表情は、決死の思いで旅立った思いが伝わってくるような趣きがあり、薩摩藩英国留学生記念館を見つめるように並べられています。

西中さんは「素晴らしいものが完成した。若者がこのレリーフを見て、何か感じてほしい。将来留学生たちのように世界に羽ばたいていく道標になってほしい」と話しました。



留学生19名の石彫レリーフ



レリーフを寄贈した西中浩二さん（右側）

クイズ 知っちゃっけ？

問い： おしりが光る昆虫といえば、そう、みなさん今の時期に思いつくのは「ホタル」ですね。

市内でも荒川地区や冠岳地区など、観光スポットになっている場所もあり、この時期の風物詩となっています。ホタルは1年近くを幼虫やさなぎの姿で過ごし、成虫になってからは生きられる期間もわずかです。

さて、ホタルが成虫になってから生きられる期間は、次のうちどれでしょうか。

- ① 1～3日程度
- ② 5～7日程度
- ③ 10～14日程度

答えはこの広報紙のどこかにあります。



まぐろづくし賑わう まぐろフェスティバル

4月29日と30日の2日間、串木野漁港外港で第27回串木野まぐろフェスティバルが開催され、多くの人で賑わいました。

晴天にも恵まれ、毎年恒例の天然まぐろの寿司振る舞いには開場前から長蛇の列ができ、人気のまぐろの即売会では、市価の半額ほどで買えるとあって、多くの人が列を作りました。

今年は、会場内に特設リングが設けられ、『海鮮プロレス』が初登場。マグロジェットや海ゴージャなど、魚介に扮した覆面レスラーによる熱戦に、多くの観客から声援が送られ、子ども達が登場したリングパフォーマンスでも笑いを誘っていました。

鹿児島市から家族で来場していた小学5年生の黒木瑛太くんは、抽選会でまぐろが当たり、「早速、帰ってから家族で食べたい」と笑顔で話しました。



まぐろ重量当てクイズ



盛り上がりを見せた海鮮プロレス



まぐろ握り寿司の振る舞い



海上保安部の体験教室



「マグロウ」デビュー



賑わうまぐろフェスティバル会場

優良まぐろ漁船員表彰

おめでとうございます。

●永年勤続表彰

- 【45年勤続】 重久 厚則（神崎水産㈱）
- 【35年勤続】 蒲牟田光広（前潟水産㈱）
- 【25年勤続】 神宮寺 武（神崎水産㈱）
- 岡本 次夫（島平第一漁業生産組合）
- 笠神 弘幸（濱田水産㈱）
- 四元 幸一（前潟水産㈱）
- 【20年勤続】 鈴木 哲郎（串木野まぐろ㈱）
- 須田 潔（串木野まぐろ㈱）
- 早水 大祐（濱田水産㈱）
- 【15年勤続】 米澤 信雄（串木野まぐろ㈱）
- 【10年勤続】 桐山 正則（前潟水産㈱）

●水揚優良漁船員表彰

- 神宮司 武（第七十八幸榮丸）
- 熊谷 正人（第108幸榮丸）
- 档形 恵（第八十八大洋丸）

羽島産バレイショまるごと給食へ



市の特産品を子ども達に知ってもらおうと、5月8日の給食に羽島で採れたバレイショが出されました。

羽島のバレイショは、赤土で育つため皮が薄く、白くきれいなのが特長で、皮ごと食べることができます。

子ども達は、ふかしたバレイショを美味しそうにかぶりつき、中には口より大きいものもあり、奮闘しながら食べていました。

～いちき串木野とコーヒー～ 『aluhi (あるひ)』を出版



「いちき串木野とコーヒー」をテーマにしたフリーペーパー『aluhi (あるひ)』が4月から出版され、市内飲食店、県内外などで配布されました。

これは、本市地域おこし協力隊の小林さんが、地域を紹介するフリーペーパーがないことや、本市への移住・定住につながればとの思いからつくられたものです。『aluhi』はギリシャ語で“始まり・起源”という意味があるそうです。

小林さんは「市内外の人に知らなかったものを知ってほしい。市内に住んでいる人も“地元愛”を感じ、自慢してもらえるツールになれば」と話しました。

「いい香りがするね～」というフレーズから始まり、読み終わる頃には『aluhi』を片手に散策したくなるような、まちの魅力が詰まった内容となっています。みかけた際はぜひご覧ください。

小林さんの今後の活動が期待されます。

サワーポメロの香りで心も体もリフレッシュ



本市特産のサワーポメロを広く知ってもらおうと、5月6日、「皐月のお花見会」がありました。

風に運ばれてくるサワーポメロの花の香りを果樹園で楽しんだ後、総合観光案内所で生産者の西美香さんによる講話や調香師の堀之内夕子さんによるワークショップを行い、サワーポメロの楽しみ方を学びました。

ワークショップでは、堀之内さんがサワーポメロの香りによる効能など「五感で味わってほしい」と話され、サワーポメロの花、ピール（果皮）などを使用したオリジナルの香葉膳、バスソルト作りなどを体験し、参加者は互いの香りを楽しみ、和やかなひとときを過ごしました。

極真空手国際大会 2連覇達成



串木野中学校3年生の木場ももこさんが、4月21～22日に東京で開催された2018国際親善空手選手権大会に鹿児島県支部代表として出場し、大会2連覇の偉業を達成しました。

木場さんは、国内外の41名が出場した中学生女子の45キロ超級に出場。

出場したほとんどの選手が木場さんより大きく、初戦はロシア選手に1本勝ち。その勢いのまま順当に勝ち進み、決勝は日本人同士の対戦となり、ここまできたら勝たないといけないという強い精神力で臨み、見事優勝を手にしました。

今回の大会では前回優勝していたこともあり、他の選手から研究されることを想定。前回大会後、父：浩二さんがこれまでの練習法に加え、得意技の上段前蹴りを活かす分析ノートも考案され、厳しい練習を重ねました。

木場さんは、「2連覇できたのも、家族を含め周りの支えがあったことに感謝したい」と話しました。今後も木場さんの活躍が期待されます。

おめでとうございます。

青少年教育・漁業振興へ寄付



5月1日、豊田汽缶株式会社代表取締役会長の勝田好和さん（愛知県在住）から、50万円の寄付をいただきました。

勝田さんは本市羽島出身で、寄付のきっかけは、羽島を離れ50年以上が経ち、郷土に何か恩返しをしたい、また、地元のおいしい魚が少なくなったとの思いからです。豊富だった漁場が再生し、「また、地元のおいしい魚を食べてみたい」という願いも話されました。

この寄付金は勝田さんのご意向により、羽島小・中学校の教育資金及び羽島地区内の漁業振興に活用いたします。